

2023年6月30日

凸版印刷、新潟工場が RBA 監査でゴールド・ステータスを取得

凸版印刷株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：磨 秀晴、以下 凸版印刷）は、FC-BGA サブストレート、ディスプレイ用カラーフィルタを生産する新潟工場で、RBA（Responsible Business Alliance）による VAP（Validated Assessment Program）監査において、ゴールド・ステータスを取得しました。

RBA は、加盟企業が持続可能なサプライチェーンの構築を通じて社会的責任を果たすことを目的とする電子機器業界を中心とした世界的な CSR 推進団体で、労働環境が安全で、労働者が敬意と尊厳を持って扱われること、事業活動が環境負荷に対して責任を持ち倫理的に行われていることを確実にする為の行動規範を定めており、VAP 監査はこの基準に則り経営が正しく行われているかどうかを第三者監査機関が評価する仕組みです。

新潟工場では、グローバル市場に向けた先端のエレクトロニクス製品の生産拠点としてサプライチェーンの持続的な改善に取り組んでいます。その結果として、監査項目である労働、安全、環境、倫理、マネジメントシステムにおいて適正な管理が認められゴールド・ステータスを取得、お客様からの RBA 行動規範準拠のご要望に対し、高いコミットメントを示すことができました。

当社は、今後も企業価値と社会価値の最大化に向け、ステークホルダーの皆様の期待と信頼に応え社会的責任と使命を果たすべく、SDGs を事業活動に一体化させ、サステナブルな未来社会の実現に貢献していきます。

